

1 住宅政策の将来像

住宅政策に関する将来像は、現計画の将来像を引き継ぎ次のとおり設定します。

誰もが自慢できる住みよいまち 田川

～生き活きと暮らし、永く住み継がれていく住まいづくりの実現～

少子高齢化の急速な進展により、本市においても人口減少が一層加速化されることが懸念されています。現計画においては、田川市第5次総合計画の将来像「ひとを育て自然と産業が共に息づくまち 田川 ～活力あるものづくり産業都市を目指して～」に則り、高齢者や若年世代などの様々なライフスタイルに対応する住宅ニーズを満たす、魅力的で良質な住まいづくりの実現に取り組んできました。

こうしたなかであって、人口流入の促進と人口流出の抑制に対する取組はさらに重要な位置付けとなっています。また、社会情勢の変化に伴い住民ニーズも一層多様化してきており、これらに対応した住宅供給や住宅に関連するサービスの確立、展開が求められています。

このようなことから、本市に住みたい・住み続けたいと思える住宅施策を充実させることにより良好で快適な住まいづくり・まちづくりを目指します。



2 住宅政策の基本目標

基本目標1 次世代に継承できる良好な住まいづくり

平成23年に発生した東日本大震災を機に、これまで以上に、耐震性、耐久性を確保した住まいづくりが求められるようになりました。さらに、加速化する少子高齢化への対応や環境へ配慮した住まいづくりも求められています。誰もが不安なく快適に暮らせる安全・安心な住まいづくりを目指すとともに、住宅市場の活性化の観点も踏まえた、本市の環境に適した住まいづくりを目指します。

施策目標1	良質な住まいづくりの促進
施策目標2	環境に配慮した住まいづくりの促進
施策目標3	安全・安心な住まいづくりの促進
施策目標4	地域に根ざした住まいづくりの促進

基本目標2 移住・定住人口の増加を目指す住まいづくり

今後も人口減少が見込まれるなか、田川市第5次総合計画においては、移住・定住の促進を重点目標と定めており、田川市未来創生総合戦略のなかでも、20歳代の転出超過数を抑制することで、移住・定住者の増加を図り、安定した年少人口構造の構築を目指しています。人口減少・少子高齢化から生じる諸問題に対応するためにも、積極的に移住・定住化を図る支援を行います。関連計画と整合を図り、総合的かつ長期的な取組により誰もが住みたい・住み続けたいと思える良好な住環境の形成を目指します。

施策目標1	良好な住環境の形成
施策目標2	良質な住宅の流通促進
施策目標3	空き家の有効活用
施策目標4	移住・定住化の促進

基本目標3 誰もが安心して住み続けられる住宅セーフティネットづくり

生活の基盤となる住宅をいかなる場合でも確保できるように、住宅セーフティネットの機能強化を行うことが全国的に求められています。所得や住戸面積の面で水準を満たしていない民間住宅の入居者に対しては、公的賃貸住宅を有効に活用するとともに、民間住宅への入居希望者に対しては、所得や家族構成、身体状況等に適した住宅を確保できる環境の整備を行うことで、誰もが安心して暮らすことができる住環境の形成を目指します。

施策目標1	市営住宅の的確な供給と管理運営
施策目標2	民間住宅の活用促進



